

西伊豆健育会病院 作業療法士 杉山 竜斗

功 績	病棟でのリハビリテーション実施にあたり、リハ職以外の看護師、ケアワーカー、クラークを巻き込み、チーム医療を実践した功績。
推 薦 者	リハビリテーション科 山口
推 薦 理 由	いままでの職員にはなかったアプローチでチーム医療を推進してきたことが理事長賞に値すると思いますので推薦させていただきます。

内 容

作業療法士の杉山は当院は入職1年目ではあるが、経験豊富で他職員とは違ったアプローチを行っています。常に明るくはきはきしている訳ではありませんが、コミュニケーション能力が高く、いつの間にか患者さんの心を捉えています。退院した患者さんでも外来受診の際は杉山と会いたがり、杉山も親身になって退院後の状況に耳を傾けます。

職員に対しても同様です。常にニコニコしている訳ではありませんが、他職種のスタッフが困っている様子だと、さりげないフォローを入れて、場を和ませたりしています。

またリハビリテーションについては、カンファレンスにて多職種で情報共通するばかりではなく、実際どのような方針でリハビリテーションを行っているのかを、他職種に「見せる」ことを重要視しています。

近くにケアワーカーがいれば、ケアワーカーが介助の中で出来る動作を行なって印象付けたり、クラークでも出来る様な声かけをわざと見せたりして、周りを意識させています。

周りの他職種のスタッフは自然と患者さんに対してどのように接すれば良いか理解出来て、リハ職が周りにいない時も、自分の出来る事が分かるので、進んでそれを実践しています。

その結果として患者さんのADLは向上し、患者さんも喜んでいただくとともに、リハ職以外のモチベーションも向上し、そのことがチーム医療にも良い影響を与えています。

残念ながら今年4月に海外青年協力隊で海外でのリハビリテーションを行なう事を選び退職となるが、それまでは杉山職員のアプローチを見習って、チーム医療をさらに進化させて行きたいと思います。